

## 第1号議案 平成28年度事業報告

### 平成27年度事業報告

バイヨン中学校建設第3期工事として当初計画した助成金申請事業はいずれも不採用となり、結果として事業規模の縮小を図って自己資金（募金資金を含む）での実施及び事業の中止といった残念な結果となった。一方、第3回目を迎えたカンボジア教員研修招聘事業は台風18号によって日程を1日短縮する結果となったが、訪問校等のご厚意を受けて充実した研修を終えることができた。

#### 1 海外支援活動に関わる事業

##### ① バイヨン中学校における多目的倉庫建設事業（蒲郡国際交流協会、自己資金）

事業名：カンボジア農村の新設中学校の新たな教育活動の展開をめざす多目的倉庫の建設とその活用

対象：バイヨン中学校 事業費：711,461円

内容：11月に完成。バイヨン中学校開校以来、運動会開催に向けて各種運動器具の充実を図り、跳び箱、綱引きロープ、ハードル等々、大型器具の寄贈をいただいた。これらの保管場所としての倉庫であり、今後体育の授業及びスポーツ活動においても効果的に活用されていくと予想する。また、農具の保管倉庫としても活用され、学校農園の発展につながると考える。



##### ② カンボジア教員研修招聘事業（自己資金）

事業名：シェムリアップ州の教員を日本に招聘し、カンボジア教育の発展・向上に資する実地研修事業

対象：シェムリアップ州教員3名、通訳1名

事業費：814,160円（社員及び協賛者特別寄付）

内容：台風の直撃を受け訪問日程を1日短縮したが、各訪問校、関係施設のご厚意によって充実した研修日程を終えることができた。特に形原中学校での運動会の参観は、バイヨン中学校運動会の実現に向け非常に効果的であった。招聘した先生たちも大変熱心で好感が持てた。

##### ③ アンコールクラウ地域及びバイヨン中学校を中心とする給食事業（自己資金）

事業名：貧困村における子どもたちの健全育成をめざす給食事業

対象：アンコールクラウ地域、ワットスラッロムチェイ小学校及びバイヨン中学校

事業費：240,000円

内容：アンコールクラウ村1回、チェイ小学校1回、バイヨン中学校2回の実施で、予算枠もあり実施回数は年々減少してきている。特にバイヨン中学校の運動会の実施にあわせて朝と昼の2回の給食を実施し事業費の多くを費やしたが、運動会成功の一因でもあった。

##### ④ バイヨン中学校運動会実施事業（自己資金）

事業名：生徒の体力の向上と協働することの楽しさを味わう運動会推進プロジェクト

対象：バイヨン中学校児童生徒、教員、地域住民

費用：142,011円

内容：鉢巻・竿旗の作成（家庭科授業）や赤白帽子などの運動会の必需品の購入を図りつつ演技・競技に向けてのやる気を高め、運動会の成功を導いた。

#### 2 福祉・奉仕・国際理解教育（授業・講演等）に関する事業

実施回数：マジック公演 43回 授業・講演 10回

## 第1号議案 平成28年度事業報告

カンボジアにおいてこれまで8年間継続支援してきた、学校教育施設等の建設事業がゼロとなった一年であった。その一方で、教育活動支援事業としての授業実践や運動会の普及活動の充実、さらに国内事業として「カンボジア子ども絵画展」が加わり、支援活動に加え交流事業がより幅広く展開された。

### 1 海外支援活動に関わる事業

#### (1) カンボジア教員研修招聘事業（招聘事業における使節団感想メモ 資料Ⅰ）

対象：バイヨン中学校・シムリアップ州教員養成学校・国内関係学校

事業決算額：957,471円（自己資金・特別寄付）

内容：交流事業の中心として位置づけている「カンボジア教員研修招聘事業」は、本年度で4回目を迎えた。9月7日から14日までの1週間の日程で3名の先生と1名の通訳を迎え、蒲郡南部保育園、名倉小、蒲郡南部小、蒲郡中、三谷中、蒲郡中部中、愛知教育大学及び生命の海科学館を研修場所として実施した。また、新規事業として「カンボジア子ども絵画展」を蒲郡市博物館、愛知教育大学において実施した。

#### (2) 寄贈品コンテナ輸送事業

対象：バイヨン中学校

事業費：662,508円（内ソロプチミスト日本財団助成500,000円、他自己資金）

内容：9月21日、年度をまたいで三河の関係学校・企業より寄贈いただいた文房具・衣類・楽器・スチール戸棚等8,800点を6Fコンテナに満載し、名古屋港・シアヌークビル経由で船便輸送をした。現地バイヨン中学校には11月当初に到着、11月15日には本法人社員参加のもと寄贈品贈呈式が盛大に行われた。

#### (3) カンボジア学校教育活動支援事業

対象：バイヨン中学校・教員養成校

事業費：2,349,370円（内蒲郡国際交流協会助成50,000円、他すべて参加者負担）

- ① 第1回：参加者：9名（内同行者1名）
- ② 第2回：参加者：7名（内同行者2名）
- ③ 第3回：参加者：15名（内同行者5名）

理科・体育・家庭科の授業に加え、本何度より新たに音楽授業を実施し支援の幅が広がった。第2回の訪問では、運動会用ユニフォームづくりに向け、草木染の家庭科授業を実施し。第3回の訪問では、運動会練習の指導及び運動会の実施、教材ビデオ制作等の活動を行った。

#### (4) シムリアップ州運動会普及事業

対象：バイヨン中学校、シムリアップ州教員養成学校

事業費：380,352円（自己資金）

内容：バイヨン中学校の運動会ユニフォームとして4色のTシャツや当日の給食などを準備し、第2回の運動会を開催した。また、教員養成学校においても第2回運動会を開催し、前回以上の参加者の下、盛大に開催することができた。

### 2 国内福祉・奉仕等に関わる事業

形原公民館事業のマジック講座において、講座を受けた小学生の発表の場を2度設け好評であった。事業内容が評価され、平成29年度の継続事業となった。（新聞記事 資料Ⅱ）

実施回数：マジック公演 56回 授業・講演 11回